

水素技術勉強会 ～再エネ高度利活用を目指して～

- **カーボンニュートラル**は最重要社会課題の一つです。
- 風力、太陽光等の再生可能エネルギー(再エネ)が注目されています。
- しかし再エネはその**変動性**、需要地からの**遠隔性**等が利活用の妨げになっています。
- **水素は、それ自体がクリーン**であることに加え、**再エネの利便性の向上**等が期待されます。
- 神戸大学では**水素、再エネ、電気**等の研究者が参集し**水素技術勉強会**を立ち上げました。
- 本勉強会は**水素技術によって再エネの利便性を高め、その高度利活用に貢献**することを目指します。

水素技術勉強会 第2回オープンシンポジウム

～水素技術の果たすべき役割を考える～

日 時 2023年3月7日(火) 15:00～17:30

開催方式 オンライン開催 Zoomによるウェビナー

参加費 無料

参加申込
クリック

シンポジウム開催案内

今回は、昨年3月のキックオフに続く第2回目のオープンシンポジウムです。

昨年のシンポジウムでは400名余のご参加をいただきました。

そして産官学の約60機関に会員登録いただきました。

2022年度は、このうち約30機関にご参加いただいた「社会ニーズ検討分科会」を中心に活動いたしました。

今回の**第1部**では、この「**社会ニーズ検討分科会**」の活動を中心にご報告します。

この間、水素を廻る社会動向は国内外で大きく変動いたしました。

そこで**第2部**では国内外より講師をお招きし、**社会ニーズに関する最新動向**を学びたいと考えております。

水素技術による再エネ高度利活用には、産官学の多数の連携が不可欠です。

ご関心のある多くの方々のご参加をお待ちしております。

主催：国立大学法人神戸大学 産官学連携本部オープンイノベーション機構

後援：公益財団法人 新産業創造研究機構

お問合せ：水素技術勉強会事務局 icd-hydrogen@research.kobe-u.ac.jp

お申込み
QRコード⇒



第2回オープンシンポジウム ～水素技術の果たすべき役割を考える～ プログラム

第1部 水素技術の社会ニーズに関する1年間の検討活動報告

1. 水素技術勉強会の概要と2022年度の活動

水素技術勉強会の主査を務める本学の武田実教授よりご説明いたします。

2. 社会ニーズ検討分科会の活動事例紹介

2022年度の活動の中心となった社会ニーズ検討分科会より、活動事例等をご紹介します。

第2部 水素技術の社会ニーズを取巻く国内外最新動向を学ぶ

1. SECURING GERMANY'S ENERGY SUPPLY

Mr. Heiko Staubitz Senior Manager, Germany Trade & Invest

欧州、特にドイツでは、再エネ、水素の利活用が近年特に活発です。

加えてウクライナ紛争により、エネルギー供給確保の見地から再エネ、水素の利活用が加速しているようです。今回はドイツ貿易・投資振興機関（通称：GTAI）のシニアマネージャHeiko Staubitz氏より講演いただきます。同氏は毎年3月に東京で開催されるFC-Expo公式セミナーでもたびたび登壇され、ご存じの方も多いかと思えます。講演は英語となりますがGTAI日本代表ダイレクターの岩村様も共同登壇され、補足説明や質疑の仲介等をいただける予定です。

2. 国際水素サプライチェーン構築に向けた我国の取組

山本 滋氏 川崎重工業株式会社 水素戦略本部副本部長 HySTRA理事長

2022年は日本に於いても画期的な年となりました。豪州から日本への液体水素の国際長距離海上輸送実証試験が世界で初めて完遂されたことです。

資源小国の我国へも海外からの大量の水素輸入の道筋が開かれることが期待されます。この実証試験を完遂した技術研究組合CO2フリー水素サプライチェーン推進機構（通称：HySTRA）の理事長で川崎重工業株式会社水素戦略本部の山本副本部長より、将来の国際水素サプライチェーン構築に向けた我国の取組について講演いただきます。